

県議会議員 さち茂人 一期（2年間）を振り返って

日頃はさち茂人の議員活動にご支援とご指導を賜り、誠にありがとうございます。
県議会議員一期目としての任期も残すところ僅かとなりました。補欠選挙で議席を頂き、2年県議会議員の仕事に少しでも早く慣れるよう無我夢中で活動に励んで参りました。
市議時代よりも駿河区内の多くの方々と知り合い、意見を聞き、地域ごとの様々な課題や地域学んできました。そして、県内全域での活動により静岡県から見た静岡市を勉強することが出来ました。また、県都静岡市がどれほど恵まれているのかをまざまざと感じた2年間でした。
継続は力です。これからも県全域での活動の中から、静岡市がよりすぐれたまちを目指し、して直前にある人口減少問題や中山間地の過疎化対策、新たな制度での教育や福祉・保険制度や農産物等、第一次産業の活性化と新産業の創設に果敢に挑戦できるように、自分の出来ること場で地道に形にしていきたいと強く感じている所であります。
結びに、自分は今回が本当の勝負であります。チャレンジャーとして正々堂々とそして、ご活動を活発に進めていきます。皆様におかれましては、変わらずのご支援と今まで以上のご厚私の決意表明とさせていただきます。

佐地 茂人



平成27年2月定例会 企画くらし環境委員会でのさち茂人の質問は

1. 東静岡周辺地区の「文化力の拠点」（東静岡駅南口県有地活用）形成への取組について

- ①大学コンソーシアム構想の中身について質問し、当局からはコンセプトとして「学びの提供」と「まち全体を学びの舞台」としていくこと。また、「学生が集い、にぎわうようにしていきたい」との話を聞きました。
- ②「文化力の拠点」であるならば、ものづくり県静岡の文化を活かし、ホビーやコンテンツ産業の集積地であってもよいのではないかと。ガンダムやミニ四駆等のプラモデルも良いのではないかとという質問に対し、第2回有識者会議ではガンダムやプラモデル、漫画、アニメなどのコンテンツを活用した取り組みについて委員から意見があり、静岡の名を売るようなイベントを継続的に開催できる意見を組み込んだ提言として取りまとめる。との答弁がありました。そこで、バンダイやタミヤとの接触を積極的に図り、連携できるよう意見を申し上げました。

2. 「ふじのくに新エネルギー等導入倍増プラン」

- ①「海洋再生可能エネルギーについて」越波式波力発電・小型波力発電等の実現に向けて本県の自然条件が向いていることを鑑み、県は力を注ぐべきと考える。研究所の設置・支援はもとより、ゆくゆくは波力発電システムの工場を誘致出来ないか。県としてはどのように考えているか質問しました。当局からは静岡発の技術として、また、経済効果の理解促進に向け大学・関係市町と取り組んでいく。との答弁がありました。
- ②天然ガスコージェネの導入について計画よりも後れを取っているが、どのように巻き返しを図るか、また、家庭用燃料電池の普及についても遅れているがどうしていくのか。との質問に対し、複数の工場間で電力を融通していく取組みを具体化していくことと、燃料電池については価格も事業者の努力で下がってきているので、水素活用と合わせて取組みを考えたい旨の話がありました。

3. 「空家等対策の推進に関する特別措置法」と本県の空き家対策について

- ①H25年のデータでは本県の空き家率は16.3%と全国平均を上回っている。空き家は27万戸で前回H20年の調査よりも4万4千戸の増加である。そこで、空き家のリニューアルを行い、低廉な価格で貸し出し、定住人口の拡大につなげるべきではないのか。という質問に対し、民間・市町と連携し、一戸建て住宅を中古住宅市場に供給するモデル事業を実施している。これらの空き家を空き家バンク等に登録し、県内外に情報を発信していきたい。との答弁がありました。

4. 清水天然ガス発電所環境影響評価手続について

- ①平成30年1月着工、平成33年の4月運転開始と伺っている清水天然ガス発電所建設計画の今後の手続きと事業の進み具合についてはどうなっていくのか。との質問に対し、3月30日までに事業者へ知事意見を提出するために、2月4日に現地調査を行い、3月10日にもう一度疑問点を事業者を確認する予定である。その後は環境影響評価審査会の答申を受けて知事意見を述べていく。との話をされました。
- ②知事意見のポイントについてはどのようなことが考えられるのか。との質問に対し、窒素酸化物の着地濃度が煙突の高さにより変化することと、煙突の高さと景観の関係である。との答弁でした。

その他、県営住宅の高齢者一人暮らし対策、夜景を活用した広報活動についてなどを質問しました。



今月の佐地ク

八幡山山頂の景観や整備について現地で話し合いを行いました。

静岡県警察へ正・強・仁へ

A Q さて、いよいよ本番だよ、本番。準備は万全かい？

A Q そう、ほくの人生活で大きな分岐点となる挑戦が始まります。心の準備は出来てるけど、まだまだ二期目へ向けての準備は…「つか」これだけやれば良いのか？」が分からないから不安でしようがないんだよ。

A Q まあ、市議選と連つのは僕も感じてるよ。本当に駿河全域で活動している君を見てると大変そうって…でも君は好きでやってるからいいけど、範子さんは大変だよ。そうだね。なんか、頼りきって自分がいるよ。だって一人じゃあ、全部行けないんだもの。申し訳ない。分身出来なないし…

A Q 僕ら仲間も大変なんだよ。仕事の合間や休みを使っつて、もっと大変なのは地元の方だよ。ほんた、ありがたんだよ、感謝しなくちゃだめだよ。

A Q うん。地元の方や期待してくれの方の好意は本当に本当にありがた。明日も頑張ろうって思う。感謝しなくちやハチが当たる。信頼を裏切らないようにしたい。

A Q そうだね。そのために今も回もいって決壊を出さなきゃダメだよ。それが君の使命だ。ところで、君が県議会に行こうって結果を出さなきゃダメだよ。警察行政のことがあったよ。

A Q そうそう。市議時代は警察の事務事業については分からないことばかりで調査権限もないからね。一度、勉強したかったんだ。石田交番のこともあるよ…

A Q 警察ってなんか、やっぱり、出来れば関わり合いたくない気がするよ。

A Q 独特の雰囲気ってあるけど、正義の味方だから…うちの子も達も好きだし…で、どんな感じなんだい？

A Q 県警（静岡県警察）は①個人の生命・身体安全と財産を守ることが重要な責務だね。そして、②犯罪行為の鎮圧、被疑者を逮捕する逮捕権を持つている。また、③交通の取締り④その他、公共安全と秩序の維持の責務にあたる。これが、警察法二条の活動根拠が責務として明記されているんだ。

A Q 組織はどうなっているんだい？

A Q 県警の組織は静岡県公安委員会があって、その下に実務を行う警察官がいるんだ。実質は県警本部長が警察組織のトップだね。本部長は警視監という階級なんだ。静岡県レベルの大きさの県では警視監が一人いる。あと、各部の部長や大きい警察署の署長さんは警視長と警視正だね。

A Q いろんな部署があるんだい？

A Q うん、静岡県警は7部と政令市の市警が2か所、それから警察学校と27の警察署の組織で運営されているんだ。部では警備部、交通部、地域部、生活安全部、県警の公安委員会は何をしているんだい？

A Q 公安委員会は民間人が5名で構成されていて、適に一度程度警察の管理の為に会議が開催されるんだ。そこで、事件や事務事業の報告を受けて審議する。

A Q 警察官の身分って県の職員と同じかい？

A Q うん、地方公務員ということなんだけど、国から警察の業務によって手当などがあるので…まあ国に関する仕事をすると国から費用が来てくれるわけじゃないかな。そこは「ミョー」な感じなんだ。で、県の予算では警察はどのくらいのお金を使っているんだい。

A Q 警察費は平成27年度当初予算で788億円。県全体の予算の6%にあたる。その内約80%の632億円が人員費に充てられているんだ。警察官は現在6115人でその他、県の事務職員が約8000人で行政事務を行っている。それから、警察官の定員が27名増員される予定なんだ。

A Q 新人警官が入ることになるんだね。

A Q 採用された新人警察官は警察学校に半年間、高卒・短大は10か月間お世話になって勉強するんだ。それから、また半年間、実習生として交番に勤務する。その後、2か月間（大卒以外は3か月間）また学校に戻って経験を積むんだ。そして、基本的には実習生で勤務した交番に戻ることになる。

A Q 結構、一人前になるまで時間が掛かるんだね。それにしても、やっぱり警察は人間力が大事なんだね。人員費に多くの費用を投じているもんね。そうだね。でも人員費を差し引くと僕は警察費が少ないと思うんだ。

A Q 人員費以外ってどんなことに使っているの？

A Q 例えば、交通安全協会ってあるだろう？そこでは横断歩道で指導している交通安全指導員の人員費が充当されている。やっぱり、警察は人が大事なんだね。それで、その他の大きな費用はというと、交通関係では運転免許事業費、運転者教育事業費、交通安全施設等整備費（信号を付けたたり、付け替える費用等）、市街地駐車対策費などがあるんだ。さっき、警察費が少ないって言ったけど、信号をつけたりする費用はやっぱりこの年度比16%増加した。ちなみに静岡市に1年間で設置された信号は112個所程度なんだ。今後は、人口も減るし、道路事情が変化した場合で効果があり期待できない信号は撤去したいとも考えているようだよ。

A Q へ、そうなんだい？

A Q ところで、さっき石田交番の件について話していたけど…

A Q うん、交番や駐在所（住み込みで警察官がいる）は各警察署が取りまとめているんだ。交番の話は後回しにして、先に庁舎（警察署）について話そう。庁舎等の施設関係では松崎分庁舎が津波対策も含めて移転するんだ。それで、27年度は用地と設計費用が上げられている。また、浜松西署が新設する予定なんだけど、「浜松はしたたかだな」とって思う。実は浜松西署は浜松市が合併して指定都市になるってことで行政区を分けるために新規に計画されたんだ。

A Q その他、浜松市警は配置人員も充実しているって聞くし…

A Q そう、浜松市警は配置人員も充実しているって聞くし…

A Q どうなるんだい？

A Q 平成17年に計画された再編整備計画は今話した2署で終了なんだ。だけど…まだだよ、なんだい？

A Q だけど、多くの老朽化した庁舎が存在する。静岡南署だつてエレベーターがなく、高層の方はともしやない。2階に行くのも大変だ、まして4階なんてつらいよ。しかも警察の階段は角度も段差も高いんだ。だから、早急に老朽化対策の整備計画や新築・改修、コニバーサルサインなど市民の利用にも適した整備計画とするための整備が望まれると思う。

A Q 確かに、人が大事でも最低限の施設整備は確かに重要だね。地震が起きた時に瞬時に対応すべき警察署が機能しないなんて考えられないもの。

A Q そうだね。27年には早速、整備計画の作成に取り掛かって欲しいし、同時並行で老朽化対策も講じてほしいと思う。そして、我々の駿河区にある静岡南署はかつて駅南が管轄だったけど現在は長田地域も管轄に統合し、業務はかなり増えているし、警察署が手狭になっている。南署の建替えや例えば、長田分署の設置も重要だし、実現したいと思う。

A Q それで、交番についてはどうなっているの？

A Q 現在、駿河区の交番は順次建替えを進めているけど、それに合わせて駅南では交番の配置計画を進めているんだ。それ以上はまた次の機会があれば話そう。

A Q そうかい、その他、何か思い出したことはないかい？

A Q 警察は犯罪の無いまちを基本的には目指しているんだ。犯罪がなければ警察はいらなくなるかもしれないけど、それからは不幸にも犯罪が起きてしまったら犯罪の検挙に最大限の警察力を投じる。現在、犯罪認知件数は平成14年の6万3千件をピークに26年には2万5千件に減少している。見つかからない犯罪があるだろうから一概には言えないけど、本当に多く警察官の皆さんは頑張っていると思う。

A Q 最近の犯罪ってどんな感じなの？

A Q うん、刑法犯では自転車泥棒などの窃盗が一番多いんだ。それから、最近ではDV（ドメスティック）バイオレンスやストーカー、振り込め詐欺があるよ。振り込め詐欺もそうだけど、広域的には危険ハーフやネットのサイバー犯罪もある。こういった犯罪は県をまたいで情報交換や連携して検挙に努める。

A Q 最後に一言、どうせ。

A Q 静岡県警は予防も捜査も県民に理解して頂き、協力をさせて頂きながら平和な静岡県にしたいと考えている。やっぱり最後は県民も目指して、警察は人間力だと思ってる。そのためには、県民の期待と信頼に応える警察を目指す。県警は、自分正しく（正義・善）に強く、悪には強く（仁）ってね。自分も頑張りたいね。

A Q いよいよ、最後の一言は二期目に向かって、お願いする内容でしょ、普通は…ごめんさい、そうでした。とにかく残り1か月間、精一杯がんばります。

A Q

人口減少対策特別委員会では、（さち茂人は委員会メンバーです）

「静岡県議会 人口減少対策特別委員会 報告書」が2月13日に議長へ提出されました。これまで7回にわたり委員会を開催し、参考人を招致しお話を伺い、委員での協議を行いました。また、先進地への調査では企業誘致や中山間地でのビジネスの取組み等の成功例を視察しました。そして、提言1. 人口減少対策の推進に向けた環境の整備
提言2. 人口の自然減に対する取組
提言3. 人口の社会減に対する取組

- それぞれに具体的な対策について提言を取りまとめました。この中で、
- ・市町ごと地域に合った対策を行えるよう県が支援体制を整えていくこと。
 - ・結婚をしたいと考えている若者に向けて、出会いの場や婚活イベントなど県行政も関わり合いを持って支援していくこと。また、世話役の人材育成を行うこと。
 - ・地域に根ざした企業への支援により確実に雇用を生み出すこと。
 - ・インセンティブな企業誘致や企業留置はもとより、新たな産業を興し、仕事を創ること。など県行政が一步踏み込んだ対策を講じるよう提言書を策定しました。



有村少子化対策担当大臣と子育てや多子家庭の支援策について話し合いを持ちました。

編集後記

少しずつ気温も暖かくなり、春の気配を感じるこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？

いよいよ統一地方選挙が近づき、二期目に向けて…ですが、前回は無投票当選でしたので、実質は今回が初めての選挙的な雰囲気我々は感じております。

本文中にもありますが、どこまでやれば良いのかわからず、色々模索しての後援会活動ですが、やるからにはきちんとした結果を佐地くんに出してあげたい、そんな気持ちで我々も頑張りますので、皆様も暖かな気持ちで佐地くんを応援して下さい。

平成27年3月吉日発行
発行責任者 林 稔久
編集担当 上條、小泉、島村、田中
静岡市八幡5丁目14-13
TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096